

エコアクション21

環境経営レポート

(第14版)



対象期間/2018年12月～2019年11月

2020年2月 発行

ISHIZAKA GROUP

有価物回収協業組合 石坂グループ

目次

1. 環境経営方針	3
2. 組織の概要	
2. 1 事業所名及び代表者氏名	4
2. 2 所在地	4
2. 3 環境管理責任者	4
2. 4 事業内容	4
2. 5 事業年度	4
2. 6 事業規模	4
2. 7 産業廃棄物関連許可事項	5
2. 8 会社沿革	6
2. 9 運搬車両の種類と台数	7
2. 10 産業廃棄物処理施設の概要	7.8
2. 11 処分場処理方式、処理工程図	9.10.11
3. 認証・登録対象範囲	12
4. EA21 組織図	12
5. 環境経営目標	13
6. 環境経営計画	14
7. グループ全体の物質収支	15.16
8. 環境経営目標と実績	17
9. 環境関連法規等の遵守状況	18
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	18
11. 地域・社会貢献	18

1. 環境経営方針

環境方針

私たち石坂グループは、リサイクル事業及び廃棄物処理事業を通じ、業界のリーディングカンパニーとして、地域・社会の環境保全への取組みをサポートし、環境に責任の持てる企業として有益な環境活動を迫及いたします。

- 1、取扱品目全般において、環境負荷の軽減、化学物質の適正管理、エネルギーの知的利用の促進、コスト削減の迫及を実施し、最適な企業活動を目指します。
- 2、事業活動の定期的見直しを実施し、継続的改善・汚染の予防・環境負荷の軽減を第一に事業活動を実施いたします。
- 3、環境企業として、子供達の環境教育を積極的に実践し、施設の一般公開・情報の開示を推進いたします。
- 4、当社において、有効資源の活用・確保及びグリーン購入を推進し、最終処分廃棄物の削減、有効利用の促進につなげます。
- 5、環境関連法規及び、同意したその他の要求事項を、すべて順守し、業界のレベルアップ・モラルの向上を目指します。
- 6、この環境方針は、当組合の環境活動の指針として全従業員に周知し、関連する一般の方すべてに公開致します。



2014年 9月 1日

有価物回収協業組合石坂グループ

理事長 石坂孝光

2. 組織の概要

2. 1 事業所名及び代表者氏名

有価物回収協業組合 石坂グループ

代表理事 石坂 孝光

2. 2 所在地

◆本社

〒861-8031

熊本県熊本市東区戸島町2874番地

☎：096（389）5501 📠：096（389）5502

◆西部事業所

〒860-0068

熊本県熊本市西区上代7丁目28番11号

☎：096（329）2002 📠：096（329）2003

◆大津事業所

〒869-1236

熊本県菊池郡大津町杉水3746番地

☎：096（293）0561 📠：096（293）0943

2. 3 環境管理責任者

環境管理責任者

常務理事 辻 崎 英 樹

☎：096（389）5501 📠：096（389）5502

2. 4 事業の内容

- ・一般廃棄物・産業廃棄物処分業
- ・一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業
- ・有価資源の再資源化
- ・各自治体の再資源物に関する委託事業
- ・循環型社会システムの構築事業
- ・リサイクル関連観光教育の指導・研修業務
- ・環境コンサルティング事業
- ・古物販売事業

2. 5 事業年度

6月 ～ 翌年5月

2. 6 事業規模

◆資本金 7,000万円

◆年商 67,245万円（2019年5月現在）

◆従業員数 279名（2019年12月現在）

2. 7 産業廃棄物関連許可事項

	許可・通知・届出等		許可番号	許可の年月日	有効期限
1	一般廃棄物収集・運搬業許可証	熊本市	第18R-11号	平成30年4月1日	令和2年3月31日
		大津町	第8号	平成30年4月1日	令和2年3月31日
		菊陽町	第267号	平成30年4月1日	令和2年3月31日
		合志市	合志市指令第76号	平成31年4月1日	令和3年3月31日
		菊池市	菊池市指令第2号	平成31年4月1日	令和3年3月31日
2	産業廃棄物収集・運搬業許可証	熊本県	第04301023165号	平成28年9月1日	令和5年8月31日
		熊本市	第08101023165号		
		福岡県	第4000023165号	平成28年7月23日	令和5年7月22日
		熊本市	第08111023165号	平成30年1月15日	令和5年1月14日
		山口県	第03500023165号	平成25年11月12日	令和2年11月11日
		佐賀県	04103023165	平成19年3月29日	令和3年3月28日
		大分県	04402023165	平成30年6月19日	令和7年6月18日
		大分市	8800023165		
		大牟田市	7801023165		
		鹿児島市	8201023165号		
		鹿児島県	04609023165号	平成24年6月27日	令和1年6月26日
		3	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証	熊本県	第04351023165号
熊本市	第08161023165号			平成27年8月8日	令和4年8月7日
福岡県	04050023165			平成29年1月23日	令和6年1月22日
山口県	第03550023165号			平成26年11月25日	令和3年11月24日
4	一般廃棄物処分業許可証	熊本市	第2-01号	平成31年3月8日	令和3年3月7日
		大津町	第34号	平成30年4月1日	令和2年3月31日
5	産業廃棄物処分業許可証	熊本県	第04321023165号	平成28年2月24日	令和5年2月11日
		熊本市	第08121023165号	平成25年9月12日	令和2年9月11日
6	解体業許可証(使用済自動車)	熊本市	第20813100108号	平成26年7月1日	令和1年6月30日
		熊本県	第20433200001号	平成26年7月1日	令和1年6月30日
		熊本市	第20816100108号	平成26年7月1日	令和1年6月30日
		熊本市	20812100108	平成29年6月19日	令和4年6月18日
	使用済自動車の再資源化に関する法律(自動車)	熊本市	20811100108	平成24年10月18日	令和4年10月17日
	使用済自動車の再資源化に関する法律(自動車)	熊本県	20431200064	平成29年8月3日	令和4年8月2日
7	廃棄物再生事業者登録証明書	熊本県	廃対第1358号	平成23年2月28日	
8	熊本市リサイクル事業者認定証	熊本市	認定番号05-22	平成27年6月10日	令和2年6月9日
9	ISO14001登録証	JSAE	JSAE 417	平成28年9月21日	令和1年9月20日
10	冷媒回収フロン事業所認定証		430022	平成28年10月1日	令和1年9月30日
11	第1種フロン類回収事業登録通知書		430007A	平成29年2月19日	令和4年2月18日
12	解体工事業登録	熊本県	22-87号	平成27年5月19日	令和2年5月18日
13	古物商許可証	熊本県	第931280001620号	平成12年12月20日	
14	エコアクション(EA)2.1		0002032	平成29年11月28日	令和1年11月27日

(情報公開ページ <http://www.ishizaka.gr.jp>)

2. 8 会社沿革

- 1970～ 1979年（昭和54年）
熊本有価物回収事業協同組合設立
- 1980～ 1980年（昭和55年）
中小企業高度化資金対象事業として資源化工場開設
- 1987年（昭和60年）
菊池郡大津町に大津事業所開設
- 1986年（昭和61年）
「熊本有価物回収事業協同組合」から
「有価物回収協業組合石坂グループ」に組織変更。
熊本市城山上代町に西部事業所開設。
- 1990～ 1991年（平成3年）
「空きびん・空き缶選別加工事業」新資源化工場開設
- 1998年（平成10年）
「ミックス古紙選別事業」と「ペットボトル選別加工事業」
工場を建設・整備。
- 1999年（平成11年）
（業）石坂グループ大津営業所を移転し、備蓄倉庫や
廃棄物処理・リサイクル処理施設を充実
- 2000～ 2000年（平成12年）
代表理事に石坂孝光 就任。
本社工屋、古紙部門選別棟・加工棟を現在地に新築移転
- 2001年（平成13年）
環境ISO14001認証取得
- 2006年（平成18年）
第5次高度中小企業高度化資金対象事業として、本社第二工場を増設
- 2007年（平成19年）
日本容器包装リサイクル協会より、「PETボトル」リサイクル業務受託開始
- 2016年（平成28年）
環境大臣より「循環型社会形成の推進」表彰状
- 2017年（平成29年）
熊本県より災害廃棄物処理事業を幹事会社として受託し運営開始
- 2018年（平成30年）
熊本県より受託した災害廃棄物処理受託事業の終了
西日本豪雨による災害廃棄物処理復興事業に指導会社として参画
- 2019年（平成31年）
熊本市指定管理事業として、東部堆肥センター運営開始
〔情報公開ページ <http://www.ishizaka.gr.jp>〕

2. 9 運搬車両の種類と台数

〔全保有台数〕	136台
＜内訳＞	
・キャブオーバ	29台
・塵芥車	45台
・高所作業車	2台
・コンテナ専用車	2台
・散水車	1台
・ステーションワゴン	9台
・脱着装置付コンテナ専用車	14台
・ダンプ	12台
・バン	11台
・箱型	11台

2. 10 産業廃棄物処理施設の概要

◆本社 (所在地：熊本県熊本市東区戸島2874番地1 外23筆)

施設の名称等	施設の種類	産業廃棄物の種類	処理能力
金属リサイクル工場	切断	プ・木・金	68.8 t/日(8h)
	圧縮	プ・金	5.6 t/日(8h)
	剥離		3.0 t/日(8h)
	切断・分離	プ・金	2.5 t/日(8h)
廃自動車等解体工場	選別・解体	プ・油・紙・木・織 ゴ・金・陶	30台/日(8h)
破碎処理工場	選別	プ・紙・木・織・ゴ	16 t/日(8h)
	破碎	金・陶・が	4.1 t/日(8h)
	破碎・選別		32 t/日(8h)
びん・缶選別工場	選別	金・陶	48 t/日(8h)
	圧縮	金	16 t/日(8h)
	圧縮		5.6 t/日(8h)
	破碎・分級	陶	16 t/日(8h)
	破碎・選別	プ・金	2.0 t/日(8h)
ペットボトル等選別工場	選別	プ	4.0 t/日(8h)
	圧縮		4.5 t/日(8h)
廃蛍光灯破碎施設	破碎	プ・金・陶	1.0 t/日(8h)
破碎・減溶施設	破碎・減溶	プ	0.96 t/日(8h)
選別・圧縮工場	選別	プ・紙・織	40 t/日(8h)
	圧縮		168 t/日(8h)
破碎・選別工場	破碎(移動式)・選別	木	276.4 t/日(8h)
ペットボトル破碎工場	選別・破碎・洗浄	プ	17 t/日(16h)
びん・ガラス破碎工場	選別・破碎・洗浄	陶	200 t/日(8h)
機密古紙破碎工場	破碎	紙	96 t/日(16h)
選別・プレス工場	選別・圧縮	プ・紙・木・織・ゴ 金・陶	100 t/日(8h)
選別工場	選別・圧縮・梱包	プ・紙・木・織・ゴ 金・陶	48 t/日(8h)

2. 10 産業廃棄物処理施設の概要

◆本社 (所在地：熊本県熊本市東区戸島2874番地1 外23筆)

施設の名称等	施設の種類	産業廃棄物の種類	保管容量
金属リサイクル工場	切断	プ・木・金	447.0m ³
	圧縮	プ・金	16.0m ³
	剥離		37.0m ³
	切断・分離	プ・金	18.5m ³
廃自動車等解体工場	選別・解体	プ・油・紙・木・織 ゴ・金・陶	18台
破砕処理工場	選別	プ・紙・木・織・ゴ	200.0m ³
	破砕	金・陶・が	
	破砕・選別		
びん・缶選別工場	選別	金・陶	361.0m ³
	圧縮	金	354.0m ³
	破砕・分級	陶	
	破砕・選別	プ・金	
ペットボトル等選別工場	選別	プ	280.0m ³
	圧縮		
廃蛍光灯破砕施設	破砕	プ・金・陶	8.0m ³
破砕・減溶施設	破砕・減溶	プ	3.4m ³
選別・圧縮工場	選別	プ・紙・織	2457.0m ³
	圧縮		447.0m ³
破砕・選別工場	破砕(移動式)・選別	木	469.7m ³
ペットボトル破砕工場	選別・破砕・洗浄	プ	143.3m ³
			572.0m ³
びん・ガラス破砕工場	選別・破砕・洗浄	陶	63.0m ³
			70.5m ³
			40.1m ³
			702.2m ³
機密古紙破砕工場	破砕	紙	35.9m ³
			10.3m ³
選別・プレス工場	選別・圧縮	プ・紙・木・織・ゴ	536.7m ³
		金・陶	206.4m ³
選別工場	選別・圧縮・梱包	プ・紙・木・織・ゴ 金・陶	378.3m ³

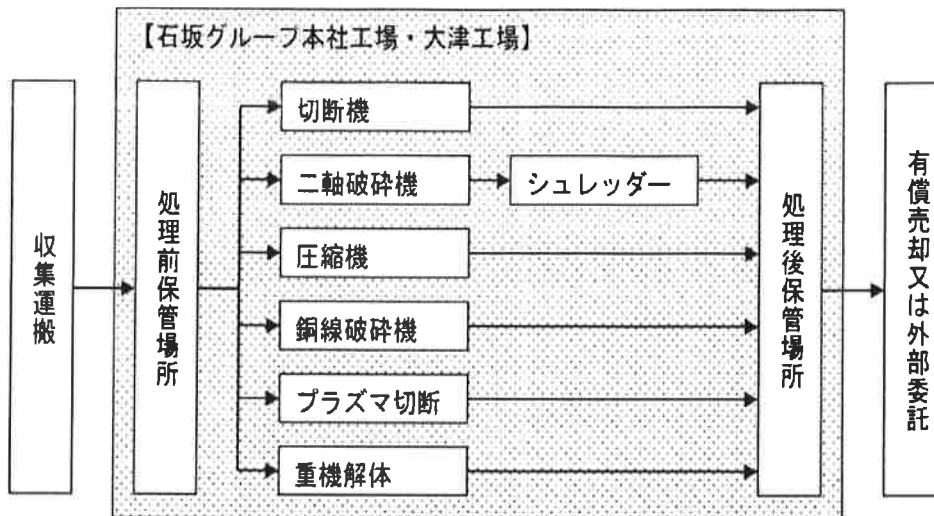
◆大津事業所 (所在地：熊本県菊池郡大津町杉水字中谷3746番2ほか)

区分	処理方法	産業廃棄物の種類	処理能力
中間処理業	圧縮	紙・織・金・プ	198.8 t/日(8 h)
	解体・選別	木・金・陶・プ	32 t/日(8 h)
	選別	紙・木・織・ゴ・金・陶・が・プ	78 t/日(8 h)
	破砕①	陶	1.0 t/日(8 h)
	破砕②	紙・木・織・プ	4.4 t/日(8 h)
	圧縮・固化	紙・木・織・プ	4.4 t/日(8 h)

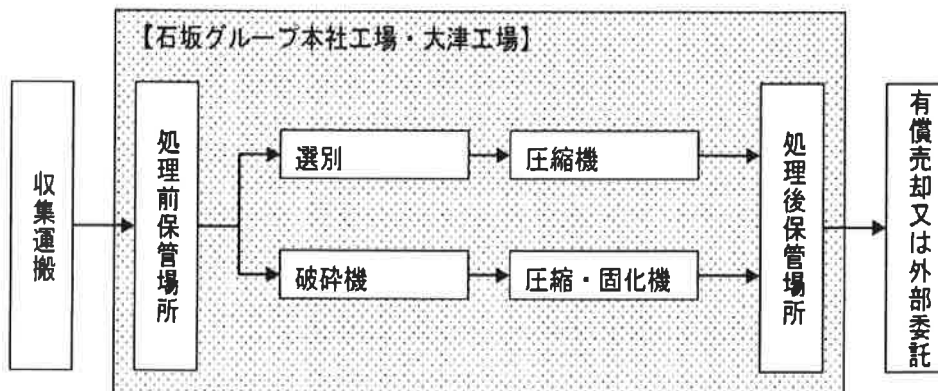
2. 11 処分場処理方式、処理工程図

有価資源回収協業組合石坂グループ 事業場内の処理工程

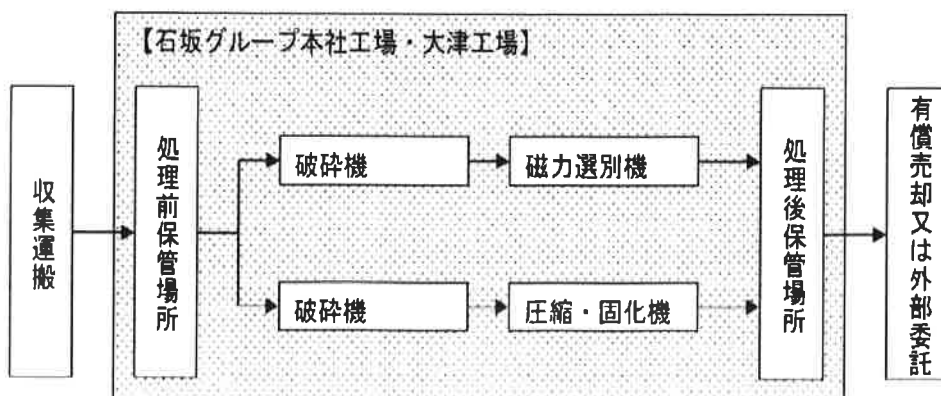
①金属くず



②紙くず

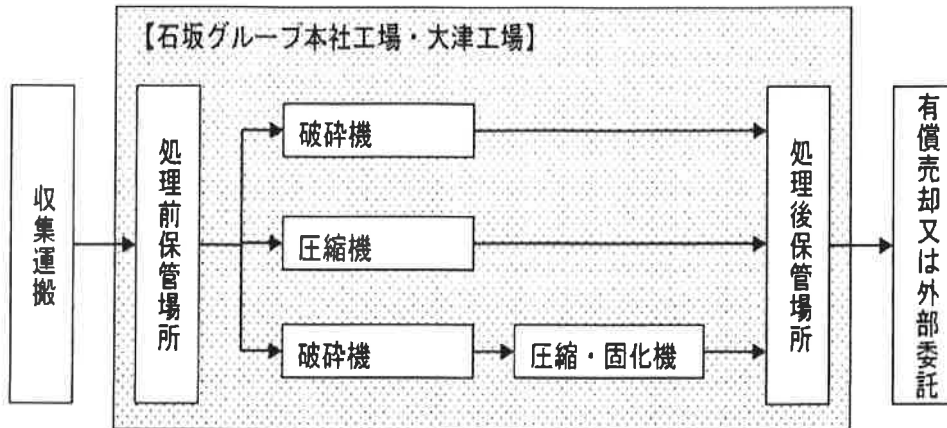


③木くず

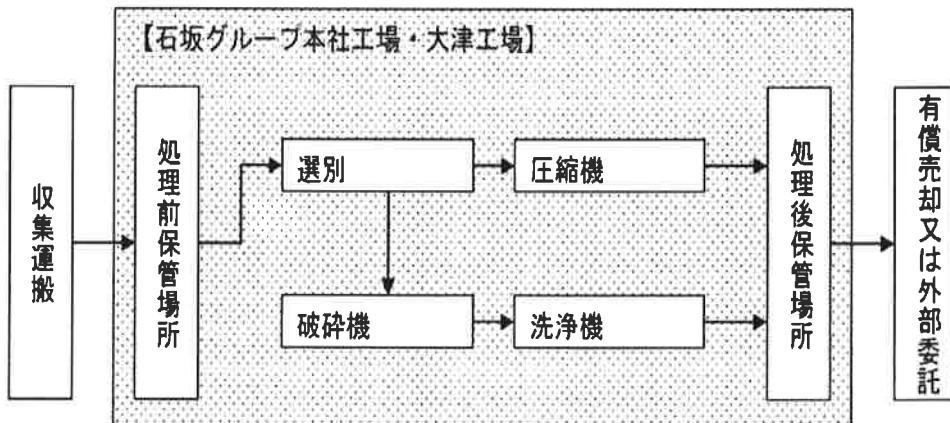


2. 11 処分場処理方式、処理工程図

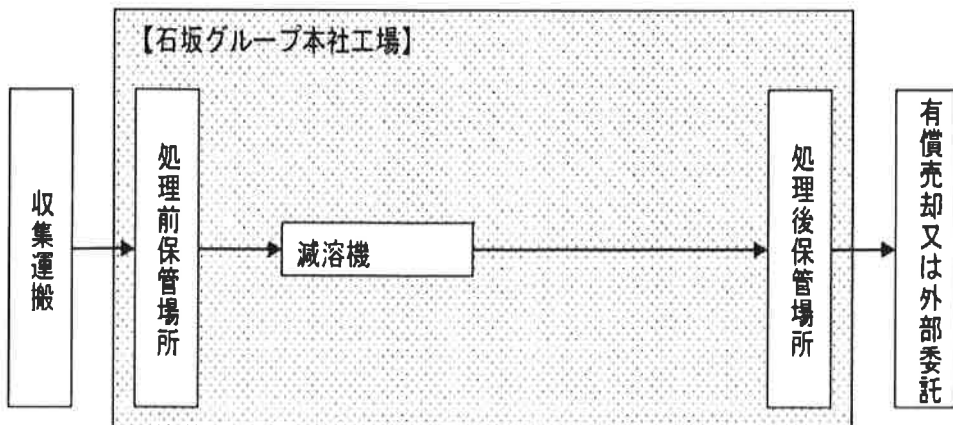
④ 廃プラスチック類



⑤ ペットボトル (廃プラスチック類)

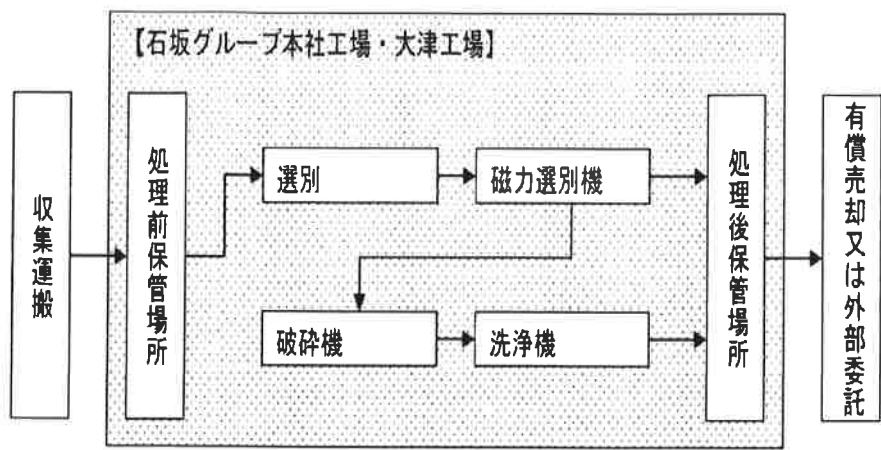


⑥ 発泡スチロール (廃プラスチック類)

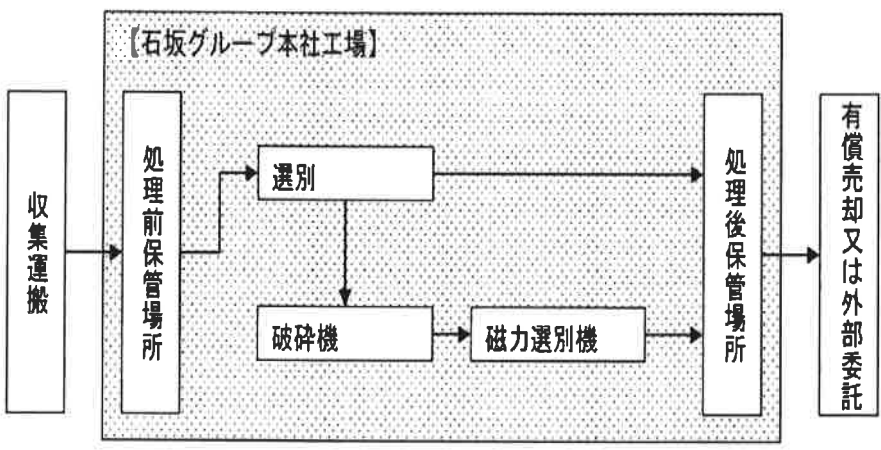


2. 11 処分場処理方式、処理工程図

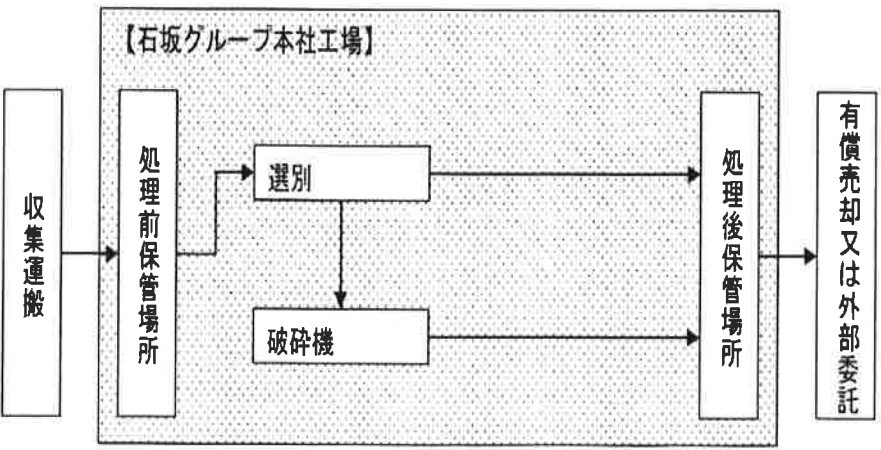
⑦ビン缶 (ガラスくず・金属くず)



⑧がれき類



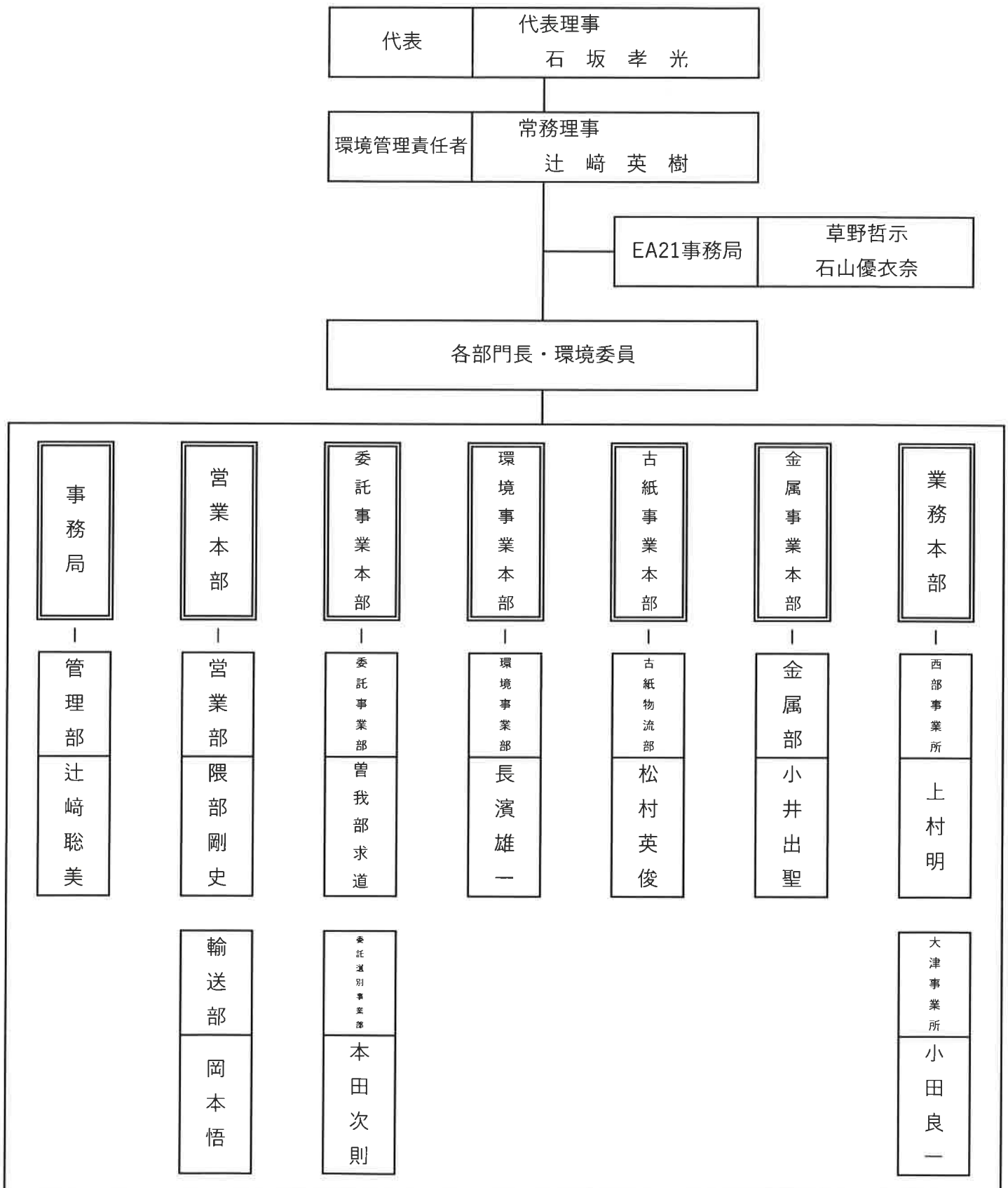
⑨蛍光灯 (ガラスくず、金属くず、廃プラスチック類)



3. 認証・登録対象範囲

本社・西部事業所・大津事業所を対象とする。

4. EA21 組織図



5. 環境経営目標

中長期の環境経営目標は、2017年度実績を基準とし、下記のとおり設定しました。

項目		単位	基準	環境目標			
				2017年度	2018年	2019年	2020年
工場の 二酸化炭素排出量	生産加工量 あたり	電気	kg-CO ₂ / t	13.98	17.01	17.10	16.40
					(80%以内)	(82%以内)	(85%以内)
	稼働時間 あたり	燃料（軽油・灯油）	kg-CO ₂ / h	8.66	8.49	8.49	8.49
					(2%削減)	(2018年度比維持)	(2018年度比維持)
		燃料（重油）	81.20	87.80	87.80	87.8	
				(93%以内)	(95%以内)	(2019年度比維持)	
収集運搬の 二酸化炭素排出量	受取運賃 あたり		kg-CO ₂ /円	0.00325	0.00322	0.00306	0.00306
						(1%削減)	(2%削減)
水使用量	生産・加工 量 あたり		m ³ / t	0.78	1.10	0.91	0.91
						(70%以内)	(73%以内)
廃棄物等排出量	リサイクル 率		%	95.6	95%以上	95%以上	95%以上
						(現状維持)	(現状維持)
工場見学、体験学習者	工場見学・ 体験学習者		人	2,637	2,501人以上	2,300人以上	1,558人以上
化学物質の適正使用・ 訂正管理				適正使用管理			
グリーン商品 (事務用品)	購買率		%	60	65	68.5	68.5
						(5%増加)	(3.5%増加)
関連法規の遵守				関連法規遵守			
環境方針の全従業員への 周知・一般への公開				環境方針の全従業員への周知・一般への公開			

※2017年度は熊本地震における災害ごみを多く扱っていたが、2018年前半で災害ごみは終了予定となっている。よって災害ゴミの発生状況を考慮し、また2018年4月には熊本市廃プラスチックの一次選別事業を落札する計画の為に電気及び重油使用の増加は考えられる。

6. 環境経営計画

環境経営目標を達成するため、環境経営計画を下記の通り設定しました。

項目		2019年度		責任部門・担当者	
工場の 二酸化炭素 排出量	生産・加工量 当たり	電気	・選別量・加工量の向上	本社工場 西部事業所 大津事業所	小井手聖 上村明 小田良一
			・加工計画の見直し		
			・加工機械時間短縮及び切り替え運転の実施		
			・LEDへの切り替え		
	生産・加工量 当たり	燃料 (軽油・灯 油)	・力量教育の実施		
			・メンテナンスの強化		
			・稼働率のUP		
			・アイドリングストップの強化		
	稼働時間当た り	燃料 (重油)	・電力との併用の検討		
・電力値の見える化の実施					
収集運搬の 二酸化炭素 排出量	受取運賃当た り		・収集コースの見直し	本社工場 西部事業所 大津事業所	岡本悟 上村明 小田良一
			・荷造り講習会の実施		
			・引取り車輛及び引取り方法の見直し		
			・配車の見直し		
			・力量教育の実施		
			・稼働率のUP		
			・省燃費運転講習会の実施		
			・メンテナンス技術向上研修会の実施		
水使用量	生産・加工量 当たり		・洗車時の雨水利用の促進と使用時間の短縮	本社工場	辻崎聡美
			・漏水の早期発見		
			・雨水タンク増設等の設備改善検討		
廃棄物等 排出量	リサイクル率		・マテリアル原料化	本社工場	佐藤育新
			・新規出荷先の開拓		
			・選別方法・収集方法の改善の強化		
			・RPF原料化の強化		
			・取引先社員向けの営業展開の強化		
			・最終残さの削減		
工場見学、 体験学習者			・婦人会・老人会・子供会へのアピール	本社工場	馬島眸
			・出張体験学習		
			・工場内での安全・清掃活動の実施		
化学物質の適 正使用・適正 管理			・定期的なチェックを行う	本社工場	長濱雄一
			・書類管理を徹底する		
グリーン商品 (事務用品)			・購入リストに基づく購入を行う	本社工場	辻崎聡美
			・省エネルギー基準適合製品を購入する		
環境法規の 遵守			・定期的なチェックを行う	本社工場	河野友美
			・書類管理を徹底する		
環境方針の 周知と公開			・全従業員に環境手帳を配布	本社工場	長濱雄一
			・正面玄関に掲示		
			・HPへ掲載する		

7. グループ全体の物質収支

◆ 工場系

エネルギー投入量 (単位：MJ)

	電気	化石燃料	合計
本社工場	17,589,428	12,868,755	30,458,183
西部事業所	619,113	613,072	1,232,185
大津事業所	4,204,389	2,126,124	6,330,513
合計	22,412,930	15,607,951	38,020,881

水使用量 (単位：m³)

	水使用量
本社工場	27,888
西部事業所	188
大津事業所	643
合計	28,719



中間処理

一般廃棄物	23,984 t
産業廃棄物	17,212 t
有価物	124,635 t
合計	165,830 t ※1

再資源化等量

一般廃棄物	3,773 t
産業廃棄物	8,744 t
有価物	146,230 t ※2
合計	158,747 t ※1

単純焼却 最終処分

一般廃棄物	1,209 t
産業廃棄物	4,843 t
合計	6,052 t ※1

工場系CO₂
総排出量
2,191,586 kg-CO₂



CO₂排出量 (単位：kg-CO₂)

	電気	化石燃料	合計
本社工場	887,524	873,215	1,760,739
西部事業所	31,239	42,118	73,357
大津事業所	212,144	145,346	357,490
合計	1,130,907	1,060,679	2,191,586

※1 入出荷のタイムラグがあるため、中間処理=再資源化+単純焼却最終処分量にはなっていません。

※2 廃棄物から再資源化されたものも含まれます。

7. グループ全体の物質収支

◆ 輸送系

エネルギー投入量 (単位：MJ)

	化石燃料
本社工場	19,711,995
西部事業所	416,778
大津事業所	2,755,087
合計	22,883,860



一般廃棄物	35,586 t
産業廃棄物	20,535 t
有価物	33,895 t
合計	90,015 t

使用燃料

軽油	571 kℓ
ガソリン	30 kℓ
BPF	1 kℓ
合計	602 kℓ

燃費

パッカー車	4.20 km/ℓ
大型車	3.43 km/ℓ
その他	4.32 km/ℓ
合計	3.98 km/ℓ

輸送系CO₂

総排出量

1,568,867 kg-CO₂



CO₂排出量 (単位：kg-CO₂)

	化石燃料
本社工場	1,350,960
西部事業所	28,633
大津事業所	189,274
合計	1,568,867

8. 環境経営目標と実績

項目			単位	2019年度		主な環境行動計画	判定	内容	
				目標	実績				
二酸化炭素排出量	工場	生産加工量あたり	電気	kg-CO2/t	17.01	11.89	・選別量・加工量の向上	○	
						加工計画の見直し	○		
			目標達成	・加工機械時間短縮及び切り替え運転の実施	○				
		燃料(軽油・灯油)	kg-CO2/t	8.49	7.56	・力量教育の実施	○		
					メンテナンスの強化	○			
					目標達成	・稼働率のUP	○		
	稼働時間あたり	燃料(重油)	kg-CO2/h	87.8	84.11	・電力との併用の検討	○		
					目標達成	・電力値の見える化の実施	○		
	収集運搬	受取運賃あたり	kg-CO2/円	0.00306	0.00265	・収集コースの見直し	○		
						・荷造り講習会の実施	○		
・引取り車輛及び引取り方法の見直し						○			
目標達成					・配車の見直し	○			
					・力量教育の実施	○			
					・稼働率のUP	○			
・省燃費運転講習会の実施	○								
・メンテナンス技術向上研修会の実施	○								
水使用量	生産加工量あたり	m ³	0.91	0.86	・洗車時の雨水利用の促進と使用時間の短縮	○			
		m ³ /t			・漏水の早期発見	○			
廃棄物排出量	再資源化等量	t	-		・マテリアル原料化	△	国門利剣による減少		
					・新規出荷先の開拓	○			
	単純焼却最終処分量	t	-		・選別方法・収集方法の改善の強化	△	メーカークレームあり		
					・RPF原料化の強化	○			
リサイクル率	%	95%以上	96.3%	・取引先社員向けの営業展開の強化	○				
				目標達成	・最終残さの削減	○			
工場見学体験学習	工場見学・体験学習者数	人	2,300	2,398	・婦人会・老人会・子供会へのアピール	×	未実施		
					・出張体験学習	×	未実施		
化学物質	化学物質の適正使用・適正管理			-	・定期的なチェックを行う	○			
					目標達成	・書類管理を徹底する	○		
グリーン購入	グリーン購入	%	68.5%	68.5%	・購入リストに基づく購入を行う	○			
					目標達成	・省エネルギー基準適合製品を購入する	○		
	環境法規の遵守			-	・定期的なチェックを行う	○			
					目標達成	・書類管理を徹底する	○		
	環境方針の周知と公開			-	・全従業員に環境手帳を配布	○			
					・正面玄関に掲示	○			
					目標達成	・HPへ掲載する	○		

9. 環境関連法規等の遵守状況

ISO-EA21事務局及び部門長は、年1回、順法性の確認を行い、環境記録として保管しています。問題が発見された場合は、環境管理責任者の下、是正処置及び予防処置を実施しています。2019年度は、当社グループによる環境関連法規違反、環境に重大な影響を与える事故、訴訟はありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

10.1 全体の評価

環境経営目標の達成状況は、全て達成でき正しく運用されている。

EA21活動をさらに向上すべく、今後の取組で各部門が実際の業務改善につながる取り組みへの変更を考えていく。

10.2 見直し

環境経営目標・環境経営計画については、見直し変更したものとし、現状の会社が置かれた状況の説明を行い、処理先・処理単価など大きく変動する要因があるため、取組の改善と課題をあげている。

コンプライアンス遵守、人材育成、作業環境改善を推し進めていく。

2019年9月4日 代表理事 石坂孝光

11. 地域・社会貢献

11.1 工場見学・体験学習

地元知育、社会貢献活動として、工場見学や体験学習を積極的に受け入れています。2019年度は、2,398名見学・体験学習者を受け入れました。

〔工場見学〕



〔体験学習〕



11.2 清掃活動

熊本市一斉清掃に参加しました。



また、同日に西部事業所・大津事業所の工場周辺の草取り・清掃活動を実施しております。

11.3 災害地への派遣

2018年11月より岡山県倉敷市の災害廃棄物処理に人員を派遣しております。